ミテミルラボって、どんなことをするの？

当日の流れ

1 オリエンテーション
進め方等を紹介します。

2 グループ鑑賞＆対話
作品を見て対話します。

3 全体共有
気づきを共有します。

4 ふりかえり
新しい見方を発見！

講師紹介

石川 恵 氏

鑑賞ファシリテーター・ワークショップデザイナー

武蔵野美術大学大学院修了。学校・美術館等で
対話による美術鑑賞を多数企画・実施。
NPO法人 ARDA での活動などを通して、
アートと人・社会をつなぐ実践を行っています。

アシスタント講師　田辺　梨絵 氏

11月23日（月・必着）までに、次の事項を明記してお申し込みください。

①参加希望の回
②氏名（ふりがな）
③年齢(生年月日)
④住所
⑤電話番号

※さいたま市生涯学習情報システム

※さいたま市生涯学習情報システム または 往復ハガキ
でお申込みください。

- 子ども（対象年齢：小学校以上）から大人まで、どなたでも申し込めます。
- 1 回の申し込みで午前、午後の回どちらかにご応募ください。
- 原則1 回の応募につき、1 人まで。保護者・同伴者等の見学は可能です。
- 参加に際して車椅子等のサポートが必要な方は、システムで申し込みの場合「備考欄」に入力、ハガキの場合⑥備考としてご記入ください。
（活動に対するサポート等のご希望には、可能な範囲でご対応します）

「エコーズ・ビトゥイーン」展について

展覧会名：
エコーズ・ビトゥイーン：日本・ドイツ・スイスのアーティストによるブック・アートという実践

内容：
うらわ美術館のコレクションと日本・ドイツ・スイスの現代作家による「ブック・アート」をめぐる作品を紹介します。タイトル「エコーズ・ビトゥイーン（Echoes Between）」は、作品と作品、人と人、国と文化、過去と現在、その「あいだ」に生まれる響き合いを意味しています。

出品作家：平井晴香、中原正夫、O JUN、李 晟 睿智、竹内孝和、Bernd Bleffert、Christine Fausten、Christine Reifenberger、Martin Streit　他

会期：
令和8年11月14日（土）～令和9年1月17日（日）
休館日：月曜日（11月23日、1月11日は開館）、
年末年始（12月27日～1月4日）、11月24日（火）、
令和9年1月12日（火）

観覧料：
一般1,000（800）円、大高生700（560）円、中小生200（160）円
※（　）内は20名以上の団体料金
※ 障がい者手帳をお持ちの方および付き添いの方1名は半額
※リピーター割引：観覧済の有料観覧券の提示により、
団体料金（観覧日から1年、1名、1回限り有効）



うらわ美術館ホームページ

ご不明な点や活動にあたっての不安がある場合はお問い合わせください。

うらわ美術館・多世代交流ワークショップ担当
〒330-0062　さいたま市浦和区仲町2-5-1
浦和センチュリーシティ3 階
TEL：048-827-3215　FAX：048-834-4327
e-mail：urawa-art-museum@city.saitama.lg.jp